

<外科、消化器外科、肝胆膵外科のご紹介>

当院では、お腹の病気については平成24年まで私と共に加古川市民病院に勤務していた内科の高田Dr.、外科の加茂田Dr.と私、河村、更に当院院長の上木Dr.との4人でチームを組んで診療にあたっております。研修医もいなくて、こじんまりしていますが、むしろ、ベテランぞろいので安心して検査や治療を受けていただけるものと思っております。内視鏡検査やCT, MRI等の検査機器におきましても最新の機器が完備されており、消化器の診断及び治療につきましては当院でほぼ完結できます。

手術についてですが、主に腹部の癌〔食道癌、胃癌、大腸癌（結腸癌、直腸癌）、肝臓癌、胆道癌、膵臓癌〕に対する手術や胆石、胆嚢炎、ヘルニアなどの良性疾患に対する手術を行っています。手術方法は良性においては腹腔鏡下胆摘術、腹腔鏡下虫垂切除術、腹腔鏡下ヘルニア根治術等、腹腔鏡下手術を中心とし、癌に対しては症例によって、胃癌や大腸癌に対する腹腔鏡下手術や胸腔鏡下の食道癌手術などの鏡視下手術も行います。また、腹膜炎や胆嚢炎などの急性良性疾患に対する緊急手術にも対応しており、近隣の消化器外科診療の中心になるよう努めています。治療方針は各種ガイドラインに則った標準治療を原則としておりますが、外科的治療には根治性と機能温存のバランスが非常に重要な課題であり、こうしたバランスを重視した過不足ない手術の提供を心がけています。さらには、最新のデータによる根拠をもとにした術前あるいは術後の抗がん剤治療を手術と組み合わせて行うことで、よりよい集学的治療を実践しています。

副院長 外科 河村 貴

<対応可能疾患>

食道から肛門に至る消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、直腸、肛門）および実質臓器である肝臓、胆嚢、胆管、膵臓、脾臓の手術、各臓器の悪性疾患（癌）、急性胆嚢炎、急性虫垂炎、十二指腸潰瘍穿孔等の救急疾患。甲状腺、乳腺、鼠径ヘルニア、下肢静脈瘤や体表の外科治療。